

『ペルシア・インド・トルコの  
ミニチュール絵画』より  
シャー・ジャハーンの肖像  
マーティン 1912年 ロンドン刊

ムガル帝国全盛期の皇帝  
シャー・ジャハーン

ムガル絵画は、ペルシア絵画をもとにインド絵画と融合しつつ発展した宮廷絵画で、17世紀に入るとヨーロッパ絵画からも影響を受けました。この絵は、インド・イスラーム文化の傑作であるタージ・マハルを築いたことで有名な、ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーン（1592-1666年）の肖像画です。彼の頭部には神々しい円光が描かれ、頭上には天使たちが、それぞれ宝冠や装身具など王権のシンボルを掲げています。

*The Miniature Painting and Painters of  
Persia, India and Turkey, from the 8th to the  
18th century, F. R. Martin, 1912, London*

The Mughal Islamic painting was a court art. It was based on Persian painting that developed by merging with Indian painting, and it was also influenced by European painting in the 17th century. The image on display is the portrait of Shah Jahan (1592-1666), the 5th Mughal emperor who is well known for building the Taj Mahal, a masterpiece of Indian-Islamic culture. A divine aura is drawn on Shah Jahan's head; above his head, angels are holding a crown and accessories that symbolize his royal authority.



Portrait of Shah Jahan

About 1650



シャール・ジャハーンしょうぎやうの肖像ねん 1912年

ムガル帝国ていこく全盛期ぜんせいの皇帝こうてい



耳は?

手首も  
見てみよう!

この皇帝が身に着けているものを見てみよう!  
それらは、何のために身に着けているのかな?  
想像(そうぞう)してみよう!

首には?

馬にも注目!

絵の右下の建物は、有名な建物に少し似ているよね?思い出せるかな?  
(ヒント:インドの世界遺産(せかいいさん)!)

★キラキラな宝石!

⇒ダイヤモンド、ルビー、サファイアなどを使ったキラキラな宝石が使われています。

★この皇帝はどんな人かな?

⇒17世紀インドのムガル帝国の第5代皇帝で、帝国の全盛期(ぜんせい)に王様だった「シャール・ジャハーン」という人です。

★この皇帝が建てた有名な建物は?

⇒インドの世界遺産として有名な、タージ・マハルです。

★タージ・マハルは、誰のために建てられたと思う?

★こたえ  
⇒皇帝の愛しい奥さん、ムスターズ・マハルのお墓のために建てら